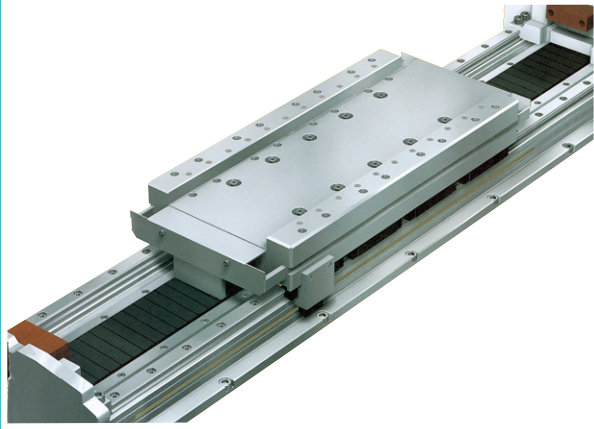


空圧・油圧・真空

直動システム・関連

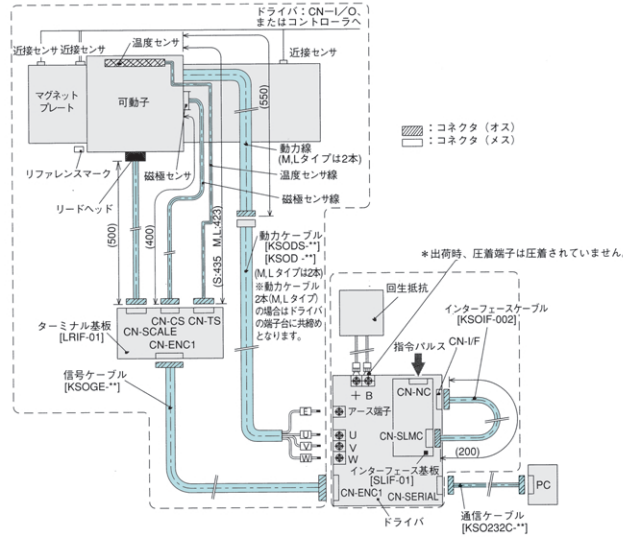
ロボット
3
FA



リニアモータアクチュエータGLM30

- 最大推力は、モータ形式および組み合わせるドライバ形式により1500～4500(N)となり、重量物を搭載しても高加減速の運転が可能です。
- 独自の冷却機構を有する可動子を採用しています。水冷することにより、ヒートシンクを取付けなくても、コイルを強制冷却し発熱を抑えられます。そのため、可動子体積が小さくても、大きな連続定格推力を得ることが可能です。
- ボールリテーナ入LMガイドSHS形の組み合わせにより、低騒音かつ低発塵の運転を実現します。
- 最高速度2m/sの動作が可能です。
- 最大一体ベース長さは、2220mmまで対応できます。つなぎ仕様で2220mm以上の製作も可能です。

GLM30形システム構成(レニショー製リニアエンコーダ仕様)



GLM30形基本仕様

項目	モータ形式		Sタイプ				Mタイプ		Lタイプ	
	単位		1500	2800	3000	4200	4500	4200	4500	
ドライバ形式			SLMC-20	SLMC-30	SLMC-50	SLMC-50	SLMC-75			
ドライバ入力電源 / 容量			3相200V/2kW	3相200V/3kW	3相200V/5kW	3相200V/5kW	3相200V/7.5kW			
最大推力 ^{*1}	N		1500	2800	3000	4200	4500			
最大推力保持時間	sec				2					
最大電流 ^{*1}	Ams		30.0	56.0	60.0	84.0	90.0			
連続定格推力 ^{*1}	水冷時 ^{*2}	N	1000	1400	2000	2500	3000			
	水冷なし	N	130		260		390			
連続定格電流 ^{*1}	水冷時	Ams	16.0	23.8	32.0	40.0	48.0			
	水冷なし	Ams	3.3		6.7		10.0			
最大搭載質量	kg		200	370	400	570	600			
2G駆動可能搭載質量 ^{*4}	kg		30	52	60	84	90			
LMガイド形番			SHS30LV							
LMブロック個数	個		4		8		10			
スライダ質量	kg		35		67		87			
吸引力	N		3200		6400		9600			

注1 巻線温度100 における値です。 注2 水冷条件は以下の「水冷条件仕様」を確認ください。 注3 加速度0.5G駆動が可能な搭載質量となります。
注4 瞬時動作が可能な値です(必要最大推力から検討した値です)。連続動作の可否判断は、動作パターンに依存します。

分解能および最高速度仕様

項目	エンコーダ形式・メーカー		RGH22 / レニショー			PL25 / ソニー P.T.
	単位		RV	RU	RN	TD
リニアエンコーダ仕様番号						
分解能	μm		0.1	0.5	1.0	10.0
最高速度	m/s		0.25		2.0	
繰り返し位置決め精度	μm			±1		±10

制御・検出・計測

駆動・回転

軸受・素材・機械

動力伝達・伝動

搬送・運搬

ポンプ・送風機・粉体

工場設備・環境

